

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名	マタニティ学級			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	健康づくり推進課	担当者名 東 亜紀
	基本事業	59	地域における子育て支援	所属班	健康推進班	(内線) 2169
予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業連番 10593	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和40 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			成果優先度評価結果 9 コスト削減優先度評価結果 6		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
【事業の内容】妊婦を対象に、安全に出産できるよう、友達づくりの場として前期・後期・赤ちゃんふれあい体験を1クールとし、妊婦同士のフリートーキングを中心に実施。栄養について調理実習と試食を行い、赤ちゃんを守る制度について、妊婦疑似体験、沐浴指導などを実施。母子健康手帳交付時に事業の説明を行いパンフレットを配布。対象者を抽出し、案内のハガキを郵送。申し込みを受け付ける。材料を発送し、実施後評価を行う。						
【業務の流れ】 栄養士が栄養講話を実施、妊娠中の生活についてや出産後の制度の説明、妊婦疑似体験・沐浴指導を保健師が実施。						
【主な予算費目】 賃金(助産師、栄養士)、需用費(消耗品費、印刷製本費)、役員費(通信運搬費)						

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 前期6回、後期6回、赤ちゃんふれあい体験4回	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 前期6回、後期6回、赤ちゃんふれあい体験4回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 妊婦(夫や祖父の同席も可)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 参加者数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 妊娠・出産について学んだり、妊婦同士の友達作りの場を提供することにより、育児不安の解消を図る。また、安全な出産につなげることができる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 妊婦 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域で子どもを見守っている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 参加者の満足度(60%以上) % イ 参加率 % ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 地域のボランティアの数 箇所 → イ 子育て支援応援事業所 箇所

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		
事業費	国庫支出金	千円			282	254	182	182	182	総トータルコスト (期間限定複数年度の記載)	
	都道府県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	繰入金	千円									
	一般財源	千円	23	534	282	254	299	299	299		
	(A) 事業費計	千円	23	534	564	508	481	481	481		0
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	8				
	延べ業務時間	時間	480	480	480	430					
	(B)人件費計	千円	1,906	1,910	1,910	1,711	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,929	2,444	2,474	2,219	481	481	481	0	
	活動指標	人	221	166	180	146	180	204	240	240	
	対象指標	人	589	572	580	560	580	590	6000	6000	
	成果指標	%	100	100	100	98.7	100	100	100	100	
		%	37.5	29	35	26.1	35	35	35	35	
	上位成果指標	箇所	348	350	350	351	355	360	360	22	
		箇所	22	26	30	35	35	40	40	年度	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和40年に公布された母子保健法の施行後、平成9年の母子保健法改正により身近な市町村に移譲され、生涯を通じた女性の健康支援として開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新興住宅の増加に伴い熊本市のベッドタウン化が進み、また核家族化のため、友達や親戚など相談相手が近くにおらず妊娠・出産・育児をする人が増え、ニーズは増加している。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
友達ができ、妊娠中のみならず出産後も相談しながら子育てできる仲間ができて本当に良かった。妊娠中や育児の不安解消になった。という意見が多く聞かれる。

事務事業名	マタニティ学級	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「妊娠中に友達を作り、育児不安を解消する。」ことにより結果の「地域で見守っている。」ことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 医療機関とは違った、地域での妊婦同士の知り合う場として必要である。安全な出産と育児不安の解消を図ることにつながっている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 「仕事をしているので平日は休めない」、「産婦人科のマタニティ学級に参加するので参加しない」という妊婦さんもいるため、出席率が伸び悩んでいる。市のマタニティ学級の利点(予定日が近い友達ができる)をきちんと説明し、出席率を向上していく必要がある。また、出席者の満足度を維持していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 孤立した妊婦の増加により、育児不安の増加につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似した事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最低限の経費で実施している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の専門職と職員で実施している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 参加費は無料。調理実習の時は米半合を持参していただいている。広報やホームページ等で周知をするとともに、母子健康手帳交付時に全員に周知しており、受益機会は公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、出席率を向上していくことと出席者の満足度を維持することで成果の向上余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 母親同士の交流ができる時間をなるべく多くもつようにする。母親が保健師や栄養士に遠慮なく質問ができるよう、保健師や栄養士も母親に親しみをもって積極的に接し、親近感をもってもらう。そうすることで、その日質問がなくても、その後の関係づくりにつなげていく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○	△		維持	△	△		低下	△	△
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	○	△																		
	維持	△	△																		
	低下	△	△																		

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

現在は広報やホームページで周知をするとともに、母子手帳交付時に全員に周知をしている状況であるが、その際出席者の感想等も含めて情報提供を行い、今後さらに出席者(参加者)を増やしていく。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)